

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 八千代工業株式会社
 コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 正彰

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 北村 哲也

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 04-2955-1211

平成22年11月22日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	157,497	28.7	3,242	—	2,888	—	1,499	—
22年3月期第2四半期	122,398	△19.6	△1,002	—	△1,138	—	△5,161	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	62.46	—
22年3月期第2四半期	△214.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
23年3月期第2四半期	124,444	—	38,379	—	27.3	1,414.11
22年3月期	125,443	—	37,507	—	26.9	1,406.69

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 33,958百万円 22年3月期 33,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
23年3月期	—	10.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	12.5	6,100	170.0	5,500	170.2	2,200	—	91.61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ー）、除外 ー社（社名 ー）
（注）当四半期連結会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 24,042,700株 22年3月期 24,042,700株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 29,013株 22年3月期 28,934株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 24,013,744株 22年3月期2Q 24,013,766株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の経済状況は、国内の景気は、設備投資や個人消費が持ち直しているものの、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況にあり、景気は足踏み状態となりました。一方、海外においては、米国の景気は、信用収縮や高い失業率が継続することなどによる停滞が懸念されるものの、緩やかに回復いたしました。アジア諸国の景気は、中国やインドで拡大し、先行きも拡大傾向が続くと見込まれ、その他の国においても総じて景気は回復いたしました。また、欧州主要国の景気は、高い失業率が継続することなどによる低迷が懸念されるものの、景気持ち直しの動きがみられるようになりました。

このような情勢のもと、当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に応えるため、研究開発及び生産体制の強化など企業体制の強化に努めてまいりました。研究開発面では、製品の軽量化やコストダウンなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体制改革をさらに推進するとともに、各地域の需要に応じた生産の最適化を図ってまいりました。また、管理間接領域における業務改革にも取り組んでまいりました。品質面では、引き続き桁違い品質の実現に向けて取り組んでまいりました。

当第2四半期連結会計期間の売上高は、自動車部品における受注の増加などにより、779億9千1百万円と前年同期に比べ101億8千5百万円、15.0%の増収となりました。利益につきましては、自動車部品の増収に伴う利益の増加及び原価改善効果などにより、研究開発費の増加などはあったものの、経常利益は、9億7千6百万円と前年同期に比べ11億7千万円の増益となりました。四半期純利益は、6億8千1百万円と、繰延税金資産の回収が見込めない部分39億4千3百万円を取崩し法人税等に計上した前年同期の四半期純損失44億7千8百万円に比べ51億5千9百万円の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

日本においては、自動車部品全般における受注の増加などにより、自動車組立の受注台数の減少などはあったものの、売上高は、530億1千3百万円、経常損失は、4億4千2百万円となりました。

(米州)

米州においては、連結子会社であるエーワイマニュファクチュアリングリミテッド(米国)、ユーエスヤチヨインコーポレーテッド(米国)、ヤチヨマニュファクチュアリングオブアラバマエルエルシー(米国)及びヤチヨオブオンタリオマニュファクチュアリングインコーポレーテッド(カナダ)における大幅な受注の増加などにより、売上高は、105億4千万円、経常損失は、6千1百万円となりました。

(中国)

中国においては、連結子会社である八千代工業(武漢)有限公司(中国)における大幅な受注の増加などにより、売上高は、46億4百万円、経常利益は、5億9千8百万円となりました。

(アジア)

アジアにおいては、連結子会社であるサイアムヤチヨカンパニーリミテッド(タイ)、サイアムゴウシマニュファクチュアリングカンパニーリミテッド(タイ)、ゴウシタンロンオートパーツカンパニーリミテッド(ベトナム)及びゴウシインディアオートパーツプライベートリミテッド(インド)における大幅な受注の増加などにより、売上高は、98億3千2百万円、経常利益は、9億1千1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、1,244億4千4百万円と前年度に比べ9億9千8百万円の減少となりました。

減少した要因は、現金及び預金の増加などがあったものの、受取手形及び売掛金や有形固定資産の減少、また、為替換算レート差による円換算額の減少などによるものであります。

負債合計は、860億6千4百万円と前年度に比べ18億7千1百万円の減少となりました。

減少した要因は、長期借入金の増加などがあったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金の減少、また、為替換算レート差による円換算額の減少などによるものであります。

純資産合計は、383億7千9百万円と前年度に比べ8億7千2百万円の増加となりました。

増加した要因は、為替換算レート差による為替換算調整勘定の減少などがあったものの、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出21億2千9百万円などの資金需要及び短期借入金の純減額21億7千6百万円、長期借入金の返済額15億5千5百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益11億8千2百万円、減価償却費29億5千5百万円、賞与引当金の増加額11億9千9百万円及び有形固定資産の売却による収入5億9千2百万円などにより、当第2四半期連結会計期間末における資金残高は76億2千2百万円となり、第1四半期連結会計期間末と比べ3億2千4百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、仕入債務の減少額12億6千3百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益11億8千2百万円、減価償却費29億5千5百万円、賞与引当金の増加額11億9千9百万円及び売上債権の減少額16億2千2百万円などにより、前年同期に比べ18億2千6百万円増加し、57億3千万円（前年同期は39億4百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ25億9千2百万円減少し、14億1千3百万円（前年同期は40億6百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、短期借入金の純減額21億7千6百万円及び長期借入金の返済額15億5千5百万円などにより、前年同期に比べ33億4千5百万円増加し、35億9千8百万円（前年同期は2億5千3百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年7月28日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は41百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は36百万円であります。

3. 連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,622	5,264
受取手形及び売掛金	35,683	38,166
商品及び製品	1,278	1,216
仕掛品	2,305	2,018
原材料及び貯蔵品	4,175	3,890
その他	3,531	2,474
流動資産合計	54,596	53,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,675	42,613
機械装置及び運搬具	84,168	83,080
工具、器具及び備品	40,638	42,005
土地	18,173	16,603
建設仮勘定	2,514	3,899
減価償却累計額	△122,129	△120,047
有形固定資産合計	66,041	68,153
無形固定資産		
のれん	1,004	1,147
その他	343	406
無形固定資産合計	1,347	1,554
投資その他の資産	2,459	2,704
固定資産合計	69,848	72,412
資産合計	124,444	125,443

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,806	32,991
短期借入金	11,553	23,025
1年内返済予定の長期借入金	5,584	5,694
賞与引当金	2,399	2,106
その他	11,167	8,217
流動負債合計	62,511	72,034
固定負債		
長期借入金	17,185	9,789
退職給付引当金	4,924	4,623
その他	1,443	1,488
固定負債合計	23,553	15,901
負債合計	86,064	87,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	32,442	31,158
自己株式	△24	△24
株主資本合計	39,607	38,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	117	189
為替換算調整勘定	△5,767	△4,733
評価・換算差額等合計	△5,649	△4,543
少数株主持分	4,421	3,727
純資産合計	38,379	37,507
負債純資産合計	124,444	125,443

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	122,398	157,497
売上原価	118,126	148,434
売上総利益	4,271	9,062
販売費及び一般管理費	5,274	5,819
営業利益又は営業損失(△)	△1,002	3,242
営業外収益		
受取利息	21	43
固定資産賃貸料	47	55
法人税等還付加算金	54	—
その他	55	58
営業外収益合計	179	157
営業外費用		
支払利息	290	231
為替差損	—	263
その他	24	16
営業外費用合計	315	511
経常利益又は経常損失(△)	△1,138	2,888
特別利益		
固定資産売却益	7	281
ゴルフ会員権売却益	0	0
特別利益合計	8	281
特別損失		
固定資産売却損	59	17
固定資産除却損	66	111
減損損失	48	—
特別退職金	235	87
その他	18	42
特別損失合計	427	259
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,557	2,910
法人税等	3,586	927
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,982
少数株主利益	16	482
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,161	1,499

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	67,805	77,991
売上原価	65,180	73,926
売上総利益	2,624	4,064
販売費及び一般管理費	2,685	2,881
営業利益又は営業損失(△)	△60	1,182
営業外収益		
受取利息	7	25
固定資産賃貸料	23	29
法人税等還付加算金	54	—
その他	24	16
営業外収益合計	109	70
営業外費用		
支払利息	142	123
為替差損	90	141
その他	10	10
営業外費用合計	242	276
経常利益又は経常損失(△)	△193	976
特別利益		
固定資産売却益	2	268
ゴルフ会員権売却益	0	0
特別利益合計	3	269
特別損失		
固定資産売却損	56	1
固定資産除却損	59	51
特別退職金	235	7
その他	16	1
特別損失合計	367	62
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△558	1,182
法人税等	3,897	279
少数株主損益調整前四半期純利益	—	903
少数株主利益	22	222
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,478	681

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,557	2,910
減価償却費	6,205	5,845
減損損失	48	—
のれん償却額	143	143
賞与引当金の増減額(△は減少)	36	293
受取利息及び受取配当金	△26	△49
支払利息	290	231
有形固定資産売却損益(△は益)	52	△251
有形固定資産除却損	66	111
売上債権の増減額(△は増加)	△2,768	1,940
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80	△699
仕入債務の増減額(△は減少)	1,055	△1,160
その他	△405	1,737
小計	3,061	11,052
利息及び配当金の受取額	21	43
利息の支払額	△292	△216
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,354	△780
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,144	10,099
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,406	△4,242
有形固定資産の売却による収入	351	662
その他	△496	525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,550	△3,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,878	△11,372
長期借入れによる収入	152	10,200
長期借入金の返済による支出	△2,872	△2,846
配当金の支払額	△360	△216
その他	△109	257
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,688	△3,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	283	△241
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,434	2,825
現金及び現金同等物の期首残高	4,835	4,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,400	7,622

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	50,563	6,756	10,486	—	67,805	—	67,805
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,014	116	38	—	1,169	(1,169)	—
計	51,578	6,872	10,524	—	68,975	(1,169)	67,805
営業利益 (又は営業損失)	△1,070	△0	1,063	△0	△7	(53)	△60

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	90,170	12,817	19,410	—	122,398	—	122,398
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,928	218	65	—	2,212	(2,212)	—
計	92,099	13,036	19,475	—	124,610	(2,212)	122,398
営業利益 (又は営業損失)	△2,488	△241	1,766	△0	△963	(38)	△1,002

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	6,761	9,640	852	17,254
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	67,805
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.0	14.2	1.2	25.4

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	12,816	17,871	1,559	32,248
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	122,398
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.4	14.6	1.3	26.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド他

その他の地域：英国、ブラジル他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社は、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象である「日本」、「米州」（カナダ、米国、ブラジル）、「中国」、「アジア」（タイ、ベトナム、インド）及び「その他の地域」（英国）を報告セグメントとしております。

「日本」では主に自動車及び自動車部品の製造及び販売を行っており、「米州」、「中国」、「アジア」及び「その他の地域」では主に自動車部品の製造及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	109,116	19,613	9,510	19,256	—	157,497	—	157,497
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,350	242	5	67	—	4,665	(4,665)	—
計	113,467	19,855	9,516	19,323	—	162,162	(4,665)	157,497
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△479	299	1,359	1,794	△0	2,972	(83)	2,888

(注) 1 セグメント利益の調整額△83百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	その他 の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	53,013	10,540	4,604	9,832	—	77,991	—	77,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,349	139	3	33	—	2,526	(2,526)	—
計	55,363	10,680	4,607	9,866	—	80,517	(2,526)	77,991
セグメント利益 (又はセグメント損失)	△442	△61	598	911	△0	1,005	(28)	976

(注) 1 セグメント利益の調整額△28百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。